

北九州市制 50周年を迎えて



50th Anniversary of
KITAKYUSHU in 2013
50周年

結び合う ちから 未来へ 響きあう

市制50周年記念事業推進室 室長 池上 修 氏



▲開庁式

わがまち・北九州市への誇りを胸に、
輝く未来に向かって、
新たな一歩を踏み出そう！

■旧五市合併から半世紀

北九州市は、昭和38年2月10日に、旧門司・小倉・若松・八幡・戸畑の五市が対等合併して発足しました。五市に及ぶ対等合併は世界でも類を見ない試みであり、合併の翌年には国連が調査団を派遣するほどの画期的な出来事でした。それから50年。平成25年2月10日に北九州市は市制50周年を迎えます。

さて、昭和38年の誕生以来本市では、都市インフラの整備を進めるとともに、公害克服、高齢化対策や子育て・教育・地域コミュニティの活性化など様々な分野で、市民、企業、行政が丸となって先駆的にまちづくりに取組んできました。そして、OECD（経済協力開発機構）から「グリーン成長モデル都市」に選ばれるほどの国際的な環境先進都市となりました。

■市制50周年に向けて

昨年10月には、全国規模のイベントが毎週末に開催されました。今回のイベントは、人材、自然の恵み、文化と、まさに北九州市の強みを際立たせ、また、本市のポテンシャル、そして地域の底力を市の内外に力強く示す最高の舞台となりました。

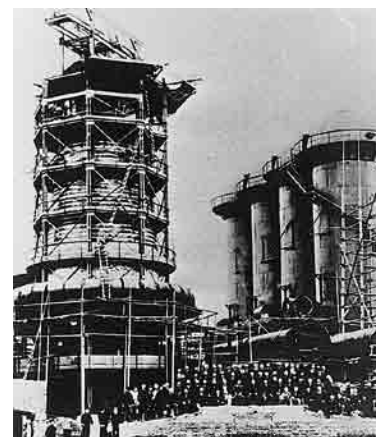
特に、史上最高となる61万人の来場者があった、「B級ご当地グルメの祭典！B-



▲めかりロープウェー



▲小倉駅完成



▲建設中の東田第一高炉

◆開催日時

市誕生から50年という大きな節目の日を盛大に祝うとともに、約1年にわたって展開する記念事業の機運の盛り上がりを図るため、市民の期待と関心が高まるような賑わいに満ちた祝祭イベントを開催します。

■北九州市誕生祭

北九州市では、市制50周年を迎える記念すべき年を市民全体で祝い、未来につながる契機の年とするため、平成23年12月に策定した「北九州市制50周年記念事業基本構想」に沿って、市制50周年にあたる平成25年2月10日(日)の記念式典や祝祭イベント「北九州市誕生祭」を皮切りに、さまざまな記念事業を展開します。

このうち、3月までに開催されるイベントをいくつか紹介します。

■市制50周年記念事業



▲B-1グランプリin北九州

「B-1グランプリ」では、ふくおかフィナンシャルグループをはじめとする地元企業からもご参加いただいた多数のボランティアの方々のおもてなしは来場者の皆さんから特に好評であり、市制50周年に向けて大きく弾みをつけることができました。

- 平成25年2月10日(日)
10:00～16:30「少雨決行」
- ◇場所
勝山公園大芝生広場
(北九州市小倉北区北九州市庁舎前)
- ◇内容
- ステージイベント
- ①オープニングイベント「祝餅つき」
(10:00～)
- 第56回全日本チンドンコンクール優勝、長崎「かわち家」による祝餅つきで賑やかに誕生祭をスタート。先着200名にあんこ餅、きなこ餅を進呈。
- ②北九州市魅力発信・ウルトラクイズ
参加者に本市の魅力や強みを再認識してもらうため、本市にちなんだ問題を出題する○×クイズを開催。進行役は、北九州市観光大使・「原口あきまさ」さん。
- (12:30～(予選)、14:00～(決勝))
- ③ブルーインパールの展示飛行
会場上空で編成連携飛行を実施。
演技課題数・15課題(予定)
(13:15～13:30予定)
- ④お笑い芸人によるお祝いライブ
北九州市観光大使・「ロバート」(吉本興業)によるお笑いライブを開催。



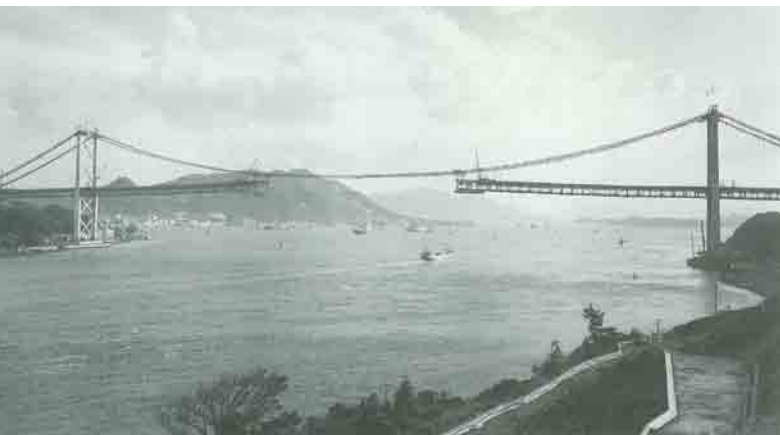
▲祝餅つき「かわち家」



▲小倉城



▲建設中の若戸大橋



▲関門橋建設中



▲東田高炉群

○フードゾーン
(15:20～15:30)

①「小倉食市食座」タイアップコーナー
先着500名に北九州の特色を活かした「北九州の恵み あったかみぞれ鍋」を進呈。移動販売車50台による「軽トラ市」、牛の丸焼きやちびっ子焼きうどん教室も開催。



▲北九州の恵み あったかみぞれ鍋

②東北支援 釜石市・「浜焼き」チャリティ販売
震災復興支援のお礼に釜石直送のほたて、イカなどの海産物を「浜焼き」にてチャリティ販売。収益は釜石市の復興のために使われます。

③障害者・高齢者がつくる「まごころ市」
○ご当地グルメ感謝祭

ビッグランプリin北九州を成功に導いてくれた市民や団体、企業など、多くの方に感謝するため、出展団体を招聘し、ご当地グルメを提供します。
(出展予定団体)

- 「八戸せんべい汁研究所」
- (ゴールドグランプリ受賞)
- 「対馬とんちゃん部隊」
- (シルバーグランプリ受賞)
- 「ひるぜん焼そば好い-ton会」
- (第6回ゴールドグランプリ受賞)

●田川ホルモン喰楽歩(6位入賞)
●小倉焼うどん研究所(地元)
○キッズプレイゾーン

飛んで跳ねて遊べる、楽しい「ふわふわ」を、50周年にちなんで5基設置します。



▲キッズプレイゾーン「ふわふわ」

北九州市の誕生日に行われるこのイベントに、ぜひご家族、ご友人とご参加いただき、一緒に祝いをしてください。

■ノーベル賞受賞者を囲むフォーラム
「次世代へのメッセージ」

子どもたちをはじめ、市民に大きな思い出や輝く未来を期待させるような取り組みとして、世界最高の学術賞であるノーベル賞の受賞者を国内外からお招きし、講演やパネルディスカッション等を開催します。

◇開催日時

平成25年2月11日(月・祝)

13:00～16:30

◇場所

北九州国際会議場

◇テーマ等

「地球環境と科学」

(1)基調講演① 李 遠哲 台湾中央研究院名誉理事長 (1986年ノーベル化学賞受賞)



▲新幹線開通



▲関門橋見学会



▲現在の小倉駅



▲東田第一高炉



▲幸町電停の電車

◆対象事業
50周年記念事業の基本理念・コンセプト及びテーマに即した事業・平成25年5月1日～平成26年2月9日の間に実施する事業

◆対象団体
北九州市内に住所を有する者、または市内に活動拠点がある団体・企業

◆1事業あたり、上限100万円を補助

◆申請期間(第2次募集)
平成25年1月15日～3月29日

※審査時期は4月中旬

◆市民公募50事業
自分達の住むまちを誇りに思えたり、市民が一体感を感じて、まちをもっと好きになれるような企画やイベントを募集します。

◆募集定員
約500名(申込み多数の場合は抽選)

◆応募方法
往復はがきに、①郵便番号、②住所、③氏名、④年齢、⑤電話番号を記入し、1月31日(必着)までに「市制50周年記念事業推進室」次世代へのメッセージ係まで。

(2)基調講演② 益川 敏英 京都産業大学教授(2008年ノーベル物理学賞受賞)

(3)現状報告 浜中 裕徳 公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)理事長

(4)右記3名によるパネルディスカッション・質疑応答

◆採択予定事業数
37事業(予定)

※申請方法等については、北九州市制50周年記念公式ホームページをご確認ください。

<http://www.kitakyushu50h.jp/>

■北九州交響楽団&合唱組曲「北九州」記念演奏会

1978年の市制15周年を記念し、日本を代表する音楽家、團伊玖磨氏の作曲と、本市にゆかりの深い劇作家、栗原一登氏の作詞によって作られた合唱組曲「北九州」。

今年度は、市制50周年を記念し、第1部は北九州交響楽団、第2部では、地元の演奏家を中心に組織された祝祭管弦楽団と合唱団による演奏で50周年のオープニングを飾ります。市民合唱で雄大に歌い上げられるふるさと賛歌は、大きな感動を呼びます。

◆開催日時
平成25年2月17日(日)15:00開演

◆会場
アルモニーク北九州ソレイユホール

<http://www.kicpac.org/music/>



▲合唱組曲「北九州」



▲現在の小倉城



▲現在の若戸大橋



▲市庁舎周辺



▲戸畑祇園大山笠

■北九州シティオペラ「アイダ」公演

市制50周年とヴェルディ生誕200年を記念し、声楽やオーケストラ、舞台制作、合唱、バレエなど多方面に多くの市民参加を得て、本格的な舞台・衣装を備えた原語（イタリア語）・字幕付きのオペラを上演します。（2日間公演）

◇開催日時

平成25年2月23日（土）17:00開演
平成25年2月24日（日）15:00開演

◇会場

アルモニーサンク北九州ソレイユホール
<http://www.k-cityopera.com/>



▲北九州シティオペラ「アイダ」

■時と風の博物館

「北九州市時と風の博物館」は、2012年2月8日、インターネット上に開館しました。

北九州市内に点在する魅力的な地域資源を展示品に、それらを包含する北九州市のまち全体を博物館に見立てたものです。

ありふれた日常の中で何気なく見過ごされがちだったこのまちが誇るべき魅力や個性を、私たちの地域資源として私たち自身で編纂し、未来へ繋げようとする試みです。

◇常設展示

テーマは7つ。巷に良く知られているこ

とから、日常に埋もれていることまで。集まった地域資源情報は、いつでも見られるように常設展示しています。

- 景観・まちなみのこと
- 自然のこと
- ひと・人情・まちのこと
- 歴史・伝承のこと
- 祭り・催事のこと
- 食のこと
- 匠・技術・働くこと

このほかにも、グループ展が開催できる「市民ギャラリー」や「ミュージアムカフェ」も設けられています。

皆さんも是非、お立ち寄りいただき、また、あなたが知っている、感じている、北九州市の魅力を示してください。

<http://www.kitakyushu-museum.jp>

■このほかの事業

このほかにも、市民・産業界と行政が一体となった市民太陽光発電所建設や、「日本スポーツマスターズ2013」の開催など、様々な事業を展開し、来年2月の「（仮称）北九州シティマラソン」でフィナーレを迎えます。このように、基本構想の基本理念やコンセプトなどを踏まえ、歴史・文化・スポーツ・環境・科学・市民活動など、幅広い分野において、各種記念事業を展開していきます。

次の50年に向かって新たな一歩を踏み出し、わがまち北九州の未来を市民と共に創っていくため、この節目の年を市民と共に大いに祝いたいと思います。



▲皿倉山100億ドルの夜景



▲響灘風力発電施設